

鈴鹿川ふれあい懇談会で頂いた 主な意見に対する回答

【ふれあい懇談会開催日・開催場所・参加人数】

平成28年3月18日：亀山市 【参加者22名】

平成28年3月19日：四日市市 【参加者67名】

平成28年3月19日：鈴鹿市 【参加者16名】



亀山市



鈴鹿市



四日市市

鈴鹿川ふれあい懇談会の主な意見と回答

◆堆積土砂の撤去や樹木伐採について

【主な意見】

- ①鈴鹿川と椋川の合流点付近の流れを安定させるために、左右岸の両方を改修してほしい。流れが左岸側によるため、瀬替え等や河床掘削をしてほしい。
- ②鈴鹿川の水位が高いから椋川の水が流れない。小田町にはすぐ避難勧告が出る。椋川の導流堤を伸ばして椋川の水位が下がるようにしてほしい。
- ③定五郎橋の右岸側下流の竹林を伐採してほしい。
- ④安楽川合流部の樹木は伐採せず、それに代わる護岸を築堤してほしい。

【回答】

- ①目標流量流下時の家屋等の浸水被害を防止するため、必要な河道断面が確保されていない箇所については、水位低下対策として河道掘削や洪水流下の障害となる河道内樹木を伐採します。河川整備にあたっては、上下流や本支川のバランス等を考慮し、安全度が低下する区間がないように留意します。（整備計画原案P4-5）



鈴鹿川ふれあい懇談会の主な意見と回答

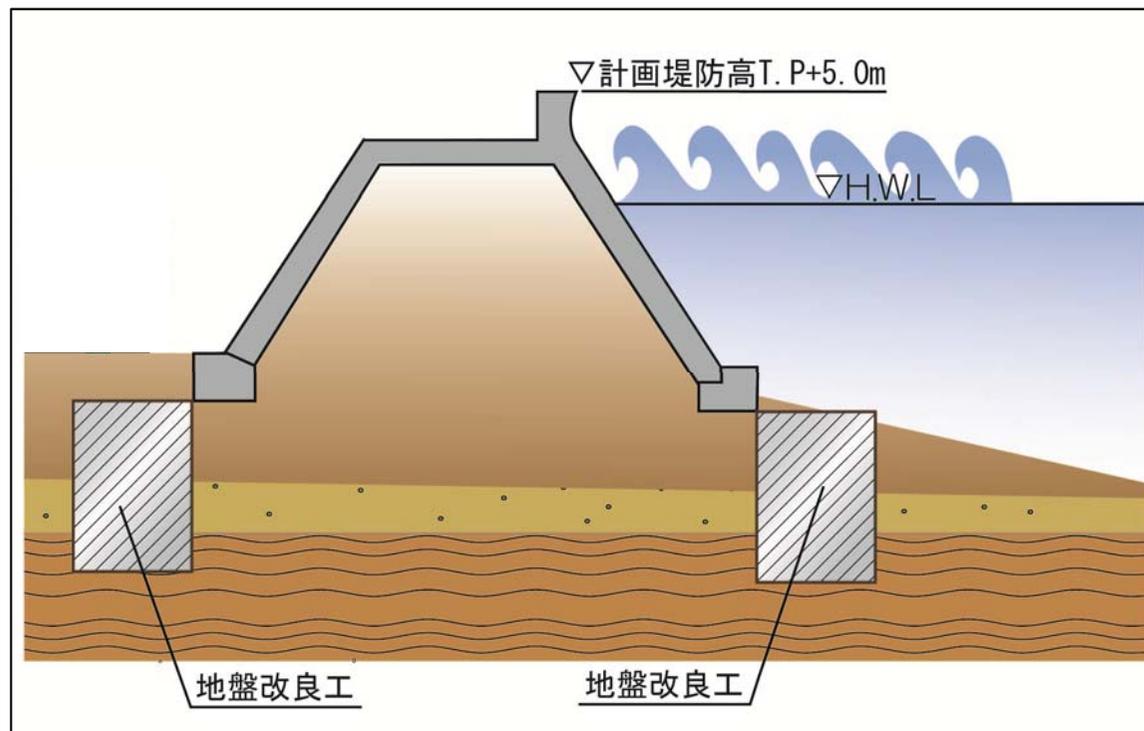
◆地震・津波対策について

【主な意見】

①地震等の災害対策についても、耐震・津波対策ということで、堤防の強靱化・補強を強く要望する。

【回答】

①河川管理施設の必要な機能を確保し、設定津波水位に対して海岸における防御と一体となって津波による浸水被害の防止するために、必要に応じて耐震・液状化対策を実施します。
(整備計画原案P4-4)



耐震対策：地盤改良工のイメージ図

鈴鹿川ふれあい懇談会の主な意見と回答

◆堤防整備について

【主な意見】

- ①緊急対策の舗装よりも、避難警告が出る箇所の築堤を最優先にしてほしい。
- ②漏水について、現地確認され把握されているのでしょうか。優先順位をつけて対策を実施して欲しい。
- ③鈴鹿川派川と近鉄線の交わる部分の堤防の高さが周囲より低くなっている。当該部分からの河川水の浸入対策を考慮して頂きたい。

【回答】

- ①目標流量流下時の家屋浸水被害を防止・軽減するため、必要な河道断面が確保されていない箇所については、堤防整備を行います。河川整備にあたっては、上下流や本支川のバランス等を考慮し、安全度が低下する区間がないように留意します。（整備計画原案P4-2）
- ②堤防の浸透に対する安全性の確保については、浸透に対する詳細点検結果を踏まえ対策を実施します。実施に当たっては、決壊による被害ポテンシャル等を総合的に評価するなど優先度を検討しながら対策を実施します。（整備計画原案P4-2）
- ③桁下高が不足するなどの橋梁については、施設管理者に対して技術的基準を踏まえ適切な指導を行います。（整備計画原案P4-15）



鈴鹿川ふれあい懇談会の主な意見と回答

◆横断工作物について

【主な意見】

- ①鈴鹿川第一、第二頭首工の改築を進行させてほしい。
- ②洪水時に土砂が溜まらないように、堰板を上げてほしい。
- ③堰・頭首工の上流に砂が溜まっているため、頭首工を全面開放式にしてほしい。

【回答】

- ①著しく治水上の支障と成る頭首工、堰、橋梁について治水効果や上下流バランスを勘案しつつ、施設管理者と連携・調整し、必要な改築、撤去、補強等を行う。（整備計画原案P4-6）
- ②定められた許可条件に基づき施設を良好な状態に保つよう適切な指導を行い、必要な機能の維持管理に努める。（整備計画原案P4-15）



鈴鹿川ふれあい懇談会の主な意見と回答

◆河川環境について

【主な意見】

- ①河川工事を行う際には、生物に配慮した構造を守るべき。
- ②河川（濬筋）の蛇行部は、環境面を考慮して、現状維持してほしい。
- ③鈴鹿川的环境（渡り鳥、アサリ、つり、サーファー）は最終的にどうなるのか？四日市市の財産として利用できないのか。
- ④頭首工の魚道の整備を実施してほしい。落差を無くしてほしい。

【回答】

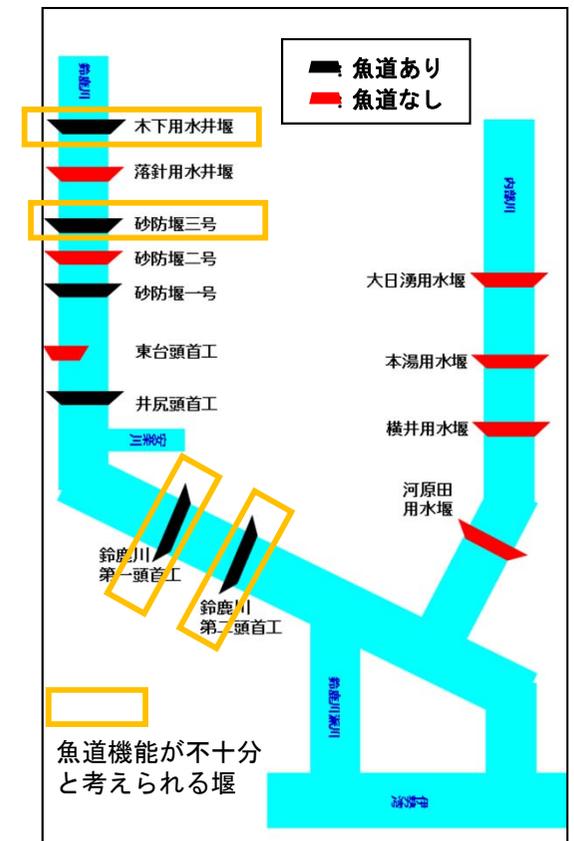
- ①生物の多様な生息環境が保全・創出されるよう、河道整備を行う際には、多自然川づくりを推進します。（整備計画原案P4-9）
- ②関係機関と連携し、既設魚道の機能改善に努めるとともに、支川の魚道を設置していない取水堰についても、魚道整備により魚類遡上環境の改善に努めます。（整備計画原案P4-9）



鈴鹿川第一頭首工魚道（H27.6撮影）



鈴鹿川第二頭首工魚道（H27.6撮影）



鈴鹿川ふれあい懇談会の主な意見と回答

◆河川利用について

【主な意見】

①勧進橋上流の公園をもっと使いやすく整備してほしい。

【回答】

②鈴鹿川河川緑地などの憩いの場や交流の場として利用される既存の親水施設等を保全し、地域住民との連携や住民間の交流を創出する場となる空間形成や、歴史や文化にまつわる空間の保全・整備に努めます。（整備計画原案P4-10）



河川利用実態調査



鈴鹿川サイクリングロード

鈴鹿川ふれあい懇談会の主な意見と回答

◆防災情報について

【主な意見】

- ① 海拔水位表示だけでは不安であり、現在の定点カメラは非常に少なく有効に配信されていない。安心して暮らせる治水整備が整うまでの間、自己防衛手段として整えて欲しい。
- ② 危険情報が入った時、河川行政としてはどのように情報提供されるのか、そのルートと行政として対応を示して欲しい。
- ③ 安楽川の合流点で重要であるため、中富田の水位観測所を基準点にしてほしい。

【回答】

- ① 受け手の判断・行動に役立つ情報の整備とともに、それを確実に伝えるための体制づくりが必要であるため、雨量情報、水位情報、CCTVカメラによる画像情報等について、インターネットや携帯端末、地上デジタル放送等を積極的に活用し、分かりやすくかつ迅速に防災情報を提供いたします。
(整備計画原案P4-15)

三重河川国道事務所WEBサイトでは、CCTVカメラ画像を公開しております。



三重河川国道事務所
WEBで鈴鹿川水系
CCTVカメラの画像を
確認できます。

ご意見を踏まえて①鈴鹿川と安楽川の合流部、②鈴鹿川派川と近鉄線と交差する箇所のCCTVカメラ画像を追加する予定です。



鈴鹿川右岸
14.8k
安楽川合流点

鈴鹿川派川橋
五味塚橋



①安楽川合流点のCCTVカメラ画像



②鈴鹿川派川と近鉄橋梁の交差部のCCTVカメラ画像

鈴鹿川ふれあい懇談会の主な意見と回答

◆その他

【主な意見】

- ①鎌谷川は所管が違うが、三重県と調整して鎌谷川区間の水害が発生しない様に速やかに計画を進めて欲しい。
- ②定五郎橋右岸の交差点を20mずらす計画があるのであれば、それに合わせて堤防も嵩上げしてほしい。
- ③市・県・国の意見交換会を設けるべきと思う。
- ④河川の維持管理の考え方についてPDCAと記載されているが、AとPの間に「評価」として情報公開していただきたい。※PDCA=Plan（計画）-Do（実施）-Check（評価）-Action（改善）
- ⑤国管理の河川区域を、加太川との合流点やその上流まで延伸してほしい。
- ⑥平和橋下流に鹿が多数出現するので、対策が必要です。
- ⑦鈴鹿川での津波遡上コンピューターグラフィックを作り状況を住民に周知してもらいたい。
- ⑧堤防の補強を行っても、遊水地のようなところに家を建設させないようにした方がよい。



三重河川国道事務所WEBサイトに公表しています。